

サノックスの目安箱 「コロナと私」



第 024 号 2020 年 9 月 20 日 杉田芳子

ニュースや近隣を見て変わった私の日々の暮らし

今年の年明けには思ってもみなかった新型コロナウイルスという厄介な恐ろしい病が、ひたひたと近づいてきました。最初は中国からの観光客でバスの乗務員の感染だったと思います。そして春節の時期に多くの観光客の来日で見ると見る内に感染が拡大した。なぜ入国を止められなかったのか。

白湯を飲めば感染しないなどと言うデマが流れ友人はすっかり信じていました。偽情報に惑わされるのが怖いです。以前テレビで呼吸器科の医師が近所のコンビニ位ならばマスクは必要なしと言っていたのが今はマスクをしていなければヒンシュクものです。

感染者が増す頃、まずマスクを探しましたがどこのドラッグストアにも在庫なし。入手できないのならば作らなくては、と早速手づくりを始めました。そのころはまだ YouTube にも作り方など掲載されていなかったので手元のマスクを参考にしたのでいまいちの出来栄え。その後、外出にははずした物を入れる物が欲しく、これも手づくり。すると今度は外出時に玄関先にマスクを入れて置く物をと、カルトナージュ(厚紙工芸)の要領で BOX を作りました。このように、たっぷりある自粛時間を楽しんでいます。

暑い日々、歩くにはもってこいのショッピングモール。ここの1階から3階までを往復し買い物を済ませば 5000 歩位になります。座って休む所はたくさんあるし今のお気に入り場所です。少しでも終活をと衣類の整理。埠頭は衣類の山で輸出できない状態だそうです。また元の押入れにもどしました。

人口8万人余りの小さな市中では一人でも感染者が出ますと、主人はいろいろな病を抱えているので、不安が増します。私もこの半年は買い物以外電車にも乗っていません。この先の秋・冬には第三波が確実に襲来するようです。暇を持て余す時間を読書と針仕事、そして高齢者には良いという塗り絵を楽しみ、冬は写経もいかなと思っています。来年のオリンピックの開催を待ち望みながら。

杉田芳子(主婦)